

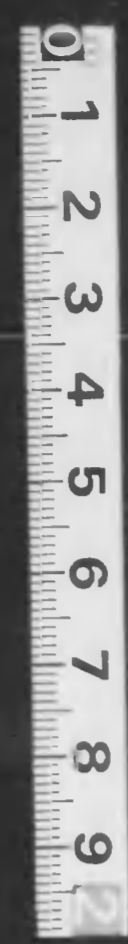
週寫眞  
報

編輯部報情閣内  
二十一年四月二十一日

第三十三号 (昭和二十一年四月二十一日)



焼夷弾の延焼は防げる



# 産土置の貝粒

界租本日口漢たつたと城廢



されたわが  
 のバンドを  
 置いた物には  
 物もなほ  
 残して行つた  
 ことながら、  
 出来ぬ程の  
 出来ぬ程の  
 出来ぬ程の  
 出来ぬ程の



# 厚生保健



健胃剤 アタキシン

整腸剤 ラクトスターゼ

消化剤 タカチアスターゼ

栄養剤 オリザニン

増血剤 ヘミナール

各種別説明書送呈

東京市日本橋區室町 三共株式会社



かつての煥然な漢口神社は、神も佛も知らぬ暴兵支那軍のたぐいも無様に破壊された。



十月二十五日夕、漢口漢口の一角に突入したわが決死隊の行手に、折からの冷雨をとりして運命のやうな場面が現れ、闇を、濃々たる火焔が上るのが見えた。地獄と照し合はせて見ると日本租界の方向に當つてゐる。勇士たちは黙せずして情死の夢を振りしめたのだつた。  
果して敵はわが軍が漢口附近に迫るを知ると同時に、かねてわが重要建築物に仕掛けてあつた爆薬に燃火し、居留民住宅に火を放つて逃走したのである。昨年八月七日わが居留民が血涙を吞んで漢口を引揚げてから一年三ヶ月、わが先駆隊が過去幾十年血と汗で築きあげた尊い權益は一夜にして破壊されたのである。



撮影 外務省及 内閣情報部  
事變前のわが漢口總領事館の偉容と、現在の慘状。(上)

事變前のわが陸軍除本部と、煤破のあと(上)は除本部もあてられぬ日本租界目貫きの通り。



漢口日本租界は約五萬坪、事變前には千七百餘人の華人が在留してゐたが支那軍はわが居留民を引揚げて逃るや否や軍需品のやうに租界内に搬入し、先を争つて華人の財産を奪ひ合ひのわづか一日の中に食糧財道具等一物も残さず掠奪し去つたのである。  
これと同時に麻政権は日本租界を撤去し、三裏馬路といはれたわが南首飾にはソライエトの飛行機を任せ、又これまで日本の商、例へば大和堂を八、一三衛、山崎堂を運海衛、大正堂を二、二八衛と改更に抗日思想をあらわす名に改め、またわが建築物はイザイス建築を排したのである。  
今がて不審を興つた漢口もついに支へ切れぬことを知つた大隈介石は、わが重要建築物、周到なる設備の下にダイマイトを仕掛け爆殺の手はびくをよのつた。大隈介石は不法にもまた禁止も取置の腹いせに生命なき建物を爆殺したのである。そして彼自身はこの爆殺の直前飛行機でいづくともなく逃げたのである。





# 新館成る

天皇陛下には御即位大禮十周年記念日の十一月十日、新装なつた帝室博物館に行幸、わが國美術の精華を觀し、天覽あそばされられた。同館は、御即位大禮奉祝記念のため朝野の浄財を集めて、昭和六年十一月地鎮祭を行つて以來、六年の歳月と七百十三萬圓の工事費をかけて造営されたもので、今回の行幸もこの國民の赤誠を嘉せられたものと洩れ承る。

日本趣味を基調とする東洋近世式の意匠と鐵骨鐵筋材料の近代的新造との調和、そのすみみまで現代科學の粋をさめたる施設は世界に誇るべきものである。觀賞陣列には高窓式採光、自動照明スイッチ、全館及び陳列面の温度湿度遠距離測定表示装置等々、保存と保護には萬全の設備が施されてゐる。



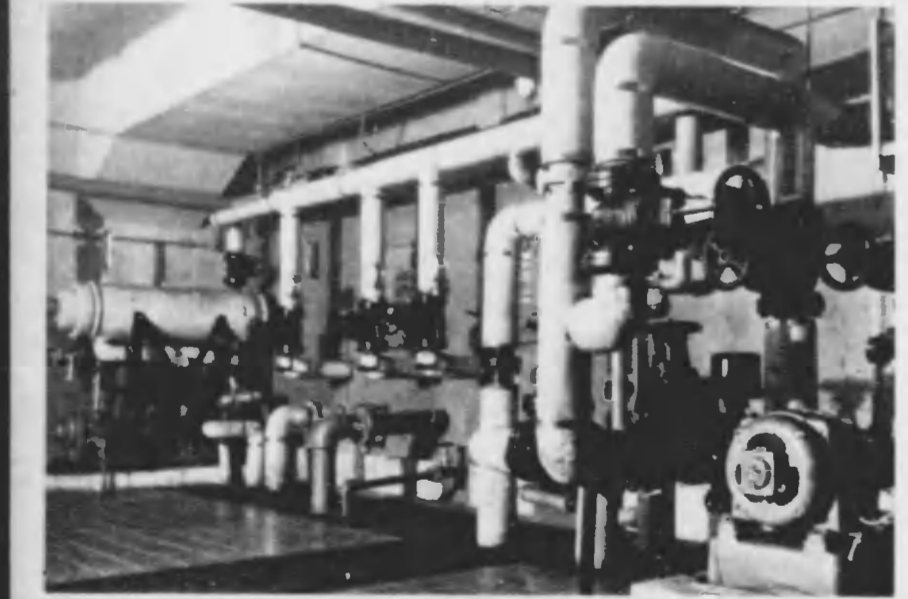
今や長期建設の一翼として新文化建設の強く叫ばれる秋、燦然たる日本美術の精神が一堂に集められたことは誠に意義深い。十月十五日の開館を待つた市民學生は連日續々と押しかけ、なかには日本美術探求の外國人の姿も監視され、和やかな雰囲気をかもしだしてゐる。

★ 新帝室博物館陳列室  
 第一陳列室 一〇五八三・一六七平方米  
 第二陳列室 二一五六・四七七平方米  
 第三陳列室 二五二・四七七平方米  
 第四陳列室 五九・九〇平方米  
 合計 一四〇一〇平方米

撮影 橋本忠良



- 1 上野の森に毅然と建つた白亜の和風近代建築、帝室博物館新館の威容は、正に戦時下日本の建設力を示すものである。左、舊本館の一部（表玄関）、右、新館。
- 2 表玄関の磨石子はガツと目をむき、次々と觀衆をのみこむ新館玄関を凝視する。
- 3 玄関ホール 巨大な構造美、強靱な曲線美、觀衆のさわめきを大理石の床に投影して。
- 4 刻々に變化する光を、幾重ものカーテンで調節する高窓式採光は、やはらかに陳列作品を照明してゐる。陳列面の内部の温度湿度も科學的に調節され陳列保存に萬全を期してゐる。
- 5 種々如來の巨大な姿もらくらくと大ホールに安置されてゐる。後向きは奈良興福寺藏、正面は滋賀縣常樂寺藏。
- 6 外人美術研究家の一人、エス・エフ・モラン氏。開館以來一日もかゝらず、しかも光線測定の前に鉛筆を握り、懐中電燈をたぐつすがあつ、ひねもす三昧境に入つてゐる。
- 7 貯蔵室の混濁した空氣は空氣清淨器で濾過され湿度を吸収され、更にヒーターで乾燥され、湿度六十パーセント内外になつて貯蔵室に送風される。陳列面に送られる空氣も同様である。
- 8 貯蔵室の湿度を調節する温度湿度遠距離測定表示機。

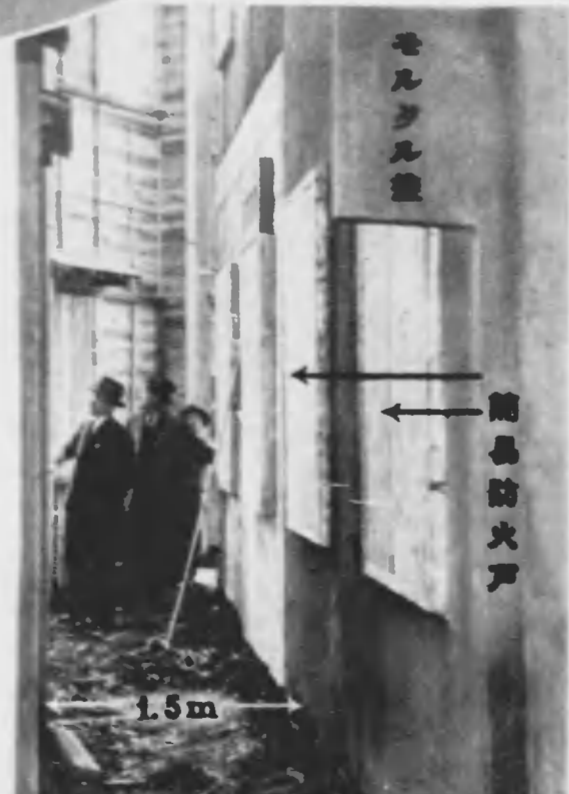




筒夷煙は點火された!



後間時一



後分五十五



後分十五

# 京東 るげ防は焼延の弾夷焼



取調やぐら。ラツバは案内アナウンス用に使用された。

現在あるものはなるべくそのまま利用して、できるだけ都市を整理するには一般の木造家屋にどんな防火的改善をすればよいか—この簡易で経済的な防火改善方法と材料とを見出すべく、十一月廿日、内務省計画局、建築学会の主催、大蔵省警備部、警視廳等の援助で「木造二階家外壁耐火試験」が淀橋浄水場前の廣場で舉行された。

試験場は、中央に四間四方の木造二階建、周圍三面は幅六尺の木造書院式二階建外壁を十三ヶ所設け、これに各種の防火改善をそれぞれ施し、のこりの一面には新しく考案された簡易防火壁が設けられ、午後二時燃夷弾が家屋内に點火された。

防火施設のない通常家屋は普通五分乃至十分で燃え崩れるが、この供試家屋は改善外壁がものを賣つて、折か

らの風速三メートルの南風にあはられたにも拘らず、廿七分半ではじめて風下の南側一部から火をふき出し焼失するまでは延焼に四十分といふ素晴らしい成績をあげた。又、書院式外壁も普通木材下見は五米も距つてゐるに拘らず間もなく全焼したのに対し、「簡易防火改善」を施した壁面は何れも、難燃通りの優秀な効果を示し、完全なる大成功に終つた。

今回の試験により其優秀な効力を立証された「簡易防火改善」によつて、「一軒付けの都市」を「燃えぬ都市」に改造する事は、目下、防空防火上の緊急問題であり、しかもこの改善工事は僅か廿五坪の家屋ならば僅かに二百圓で済む。市民が各自の家これを施すのは國民的義務であらう。

撮影 内閣情報部

點火後卅分、蛇の舌のやうな紅蓮はやうやく供試家屋南側からふき出した。

外壁材料は鐵網モルタル式、放水装置式、耐火木材式等十三種提供された。寫眞はその中の一つ氣泡式へ消防方法の一つで火の手の燃えうつる直前に石鹼の泡のやうなものをホースでかける。



後分十三



後分五十三



十五分後 二十五分後



七分後



一分後



# 焼夷弾の延焼防止 大阪

火災は一たまりもない木造都市を如何に  
 焼化すべきか  
 防空家屋建築への貴重な資料を窺めるとともに木  
 造家屋がどの程度まで焼夷弾に耐へるかを調査す  
 べく、多様な耐火条件の下に改造された大小六戸の  
 供試家屋にちやんと家具衣類を入れて試験客とする  
 大阪府前橋の大规模な火災実験は、内務省と大阪  
 府の共同主催で中野防衛司令、京都帝大、中央氣  
 象臺大阪支臺そのほか関係各方面の協力のもとに東京  
 よりひと足先に十一月十五日午前十時から行はれた  
 定期前号で一萬餘名の大観衆がギョウギおしよ  
 ぎ早朝から既に火事場騒ぎの裡に、百五十餘名の實  
 験委員、進行係、温度測定係、氣象観測係、火流  
 観測係、天然色映畫をよくむき、映畫撮影係、電  
 氣電燈試験係が現場の周圍に陣取をのんで待機  
 する。

氣象臺和達博士以下の氣象観測班は火事場特  
 有のつむじ風観測を開始し手にした風船を放つて風  
 速及びその状態変化をヒンシオン風力計、アスマン  
 通風表設計、日記温度計などで縦横に記録する。  
 坂京大教授は熱電対を、伊東助教授は放射熱と  
 委員等は眞摯な科學的研究に汗みどろとなり貫いた  
 鐵把柄につとめる。又この活躍に安つて燃えさかる  
 家屋内に消防隊員の一隊が挺身おどり込み、どの程  
 度まで火災にがんばれるものと耐火実験をする姿  
 が深くましくも得い。  
 黒煙は漆々と天に沖して十分後の同廿五分には第  
 一號家屋を焼いた火の手は猛烈な勢ひで第二號家屋  
 に迫つたが兩家の間に造られた降下の防火壁によつ  
 てたゞ黒煙が外壁をつたひ舞ひこんだのみでしはら  
 くは延焼せず防火壁の効果を百パーセントに實驗し  
 たのは萬餘の觀衆を一驚させた。かくて第一號家屋  
 通過を忠實に記録してゆく。

京都帝大理學部の輻射熱測定器が現場の經  
 験委員の手で高くさし上げられてゐる。す  
 られながら懸命に測定装置の調整を  
 行はされた風船玉と協力して風速計が火  
 災の中心に近づき、火の勢ひが激しくな  
 るにつれてB区のアナウンサーが観衆を  
 驚かせた。

猛火に注ぐ科學の觸覚。温度計が刺々温度  
 変化を自動記入してゆく。



第一號、第二號、第三號、第四號、第五號、第六號  
 王眞正、火まつりにあられる供試家  
 屋。一戸は全然町にあるそのまゝ、他の家屋  
 はそれより多少とも延焼を耐へる工夫がして  
 ある。(右から第一號家屋より第六號家屋ま  
 で四棟六戸)

第一號、第二號  
 焼夷弾火の瞬間。天然色カメラが決定  
 露光を包圍保持してゐる。左の壁は焼網モル  
 タル防火壁で降下のみを第二號家屋と仕切つ  
 てゐる。

火六分後、第一號家屋から黒煙は天に沖  
 し、紅蓮の焰けものすこく、その熱氣で観衆  
 陣は汗みどろだ。



第一號、第二號  
 午後十時廿六分、第一號家屋をなめ火の  
 勢ひは第二號家屋へと燃えうつらうとしてゐる  
 が、焼網モルタル防火壁の威力が發揮され  
 て降下からは延焼し何なかつた。

第一號  
 焼夷弾の中心に近づき、火の勢ひが激しくな  
 るにつれてB区のアナウンサーが観衆を  
 驚かせた。





# 今年の 七・五・三 アルバム

明神宮にちやうど集りの白衣の勇士の  
一團が自陣に於て参拜に来ておりました。  
當年五歳の元氣な海軍軍令部員が「コロ」と  
嬉々として白衣の勇士にセウケイしました。今日は  
子供の光復式だ、兵隊さんも皆やを脱つて平手の時



十一月十五日は奉還下に迎へた二  
度目の七五三のお祝日、東京では二  
か／＼と賑かい小春日にめぐまれ  
て、明神宮、靖國神社をはじめ町  
の氏神さまには、お父さんやお母さ  
んに手をひかれ、はつべたをリョウ  
色にそめた七五三の男の子、女の子  
が氾濫した。明神宮の神前でト  
キニニュースに映る小さな奉還軍  
の隊に映秋の輝はなごやか。

金ギールの参拝者をつ  
けたお父さんは、日露戦役  
に従軍のお父さんにつれら  
れて、小さいおちのちの手を  
合せ、靖國小園の雪ひを  
明神宮に報告、あはせて  
今大園に参拝してあるお父  
さんの武勇を久を誇りまし  
た。お父さんの胸には奉還軍  
人章が一だんと光つてお  
ます。

「さ、兵隊ちゃんよ、どうし  
たの、ホウツ笑つてごらんなさ  
い——お母さんがいくらなさ  
めてもつかせぬ、この人なれ  
のしない白衣の天使はもし、  
とはつかせぬ、たつた今時節  
神社に赤十字のマークも餅やか  
な清國帰郷で参拝をしてきたば  
かりなのよ。」



「兵隊ちゃんのおチヤマは干  
煎餅よか、衛生ギールの方が好  
きワケニ。」  
人さし指、中程くすり指……  
あらし三ツツよ、参拝の式を了  
つた國防婦人會員が参拝の参  
けなげなサービスマンに一生懸命

撮影 内閣情報部



# 院児孤軍陸ツイド

方彼の海



ベルリン市外ワグムの一隊にこれ軍國ナチスドイツにまはしい遊園たる子供の王國がある。ドイツ陸軍孤兒院がそれだ。

一七二四年、フリードリッヒ大王が戦死者の遺児のために建設したもので、現在、祖國ドイツのために一身を捧げた軍人が達した少年少女五百人が、こゝを第二の父母の家として両親の遺志を以て將來立派な軍人たるべく、母性たるべく育てられてゐる。こゝは孤兒院といふ語調から来る感じとは凡そ離れ大膽い氣風であり、雄しい學校であり、嚴格な軍紀だ。朝早くから夜まですべて規律正しく、午前中は軍隊の時間、午後は體育の時間、夜は遊戯の時間、父母のない孤兒院を興へず、天賦の性を探るは、面も心も大ドイツ帝國國威の優秀な一員たるべく教育され、訓練されてゆく。

設立以來二百年間既に三萬人の孤兒がこゝで育てられた。ドイツの歴史に著名な人でこの孤兒院にかつて少年時代を過した人も少くない。

- 1 カキ色のユニフォームに、帽子を一寸小意氣に傾けた小さな兵隊さん、「右へならへ！」
- 2 「自分のことは自分で」の良習慣を子供のときから。野外訓練を終へた少年たちが外套の袂たよき。
- 3 音樂の國ドイツだ。藝術的情操を育くむためにも、民族的意識を高めるためにも音楽の練習は毎日欠かさない。
- 4 朝と夕は小さな仲間で食べるが、晝食は生徒が大食堂に集まつて食べる。朝から晩まで元氣よく訓練をうけるから彼等の食べることも、食べることも。
- 5 生物學の時間。先生の指導をうけて顯微鏡をのぞく小さな科學者。
- 6 科學を誇るドイツだ。衛生思想は子供のときから十分に。「おてしはきれいですか」保健さんが一々しらべて行く。



劑養榮的民國の本日進躍

# ンミタィヴ 研理+

## 國民體位の向上 こそ難局打開の 鍵です！

理研ヴィタミンの強壯作用は  
病菌に對する斷乎たる抵抗力  
を培ひます。榮養を充實しま  
す。視力を強盛にします。虚  
弱體質に潑刺たる活力を與へ  
ます。

權威ある理研製品  
帝國學士院・日本  
化學會受賞・世界  
十一國製法特許！



本州一球中には牛乳一升四合  
約二十五ヶ パター三分の  
一ポンドに必敵するヴィタミ  
ンAと之に準する豊富なヴィ  
タミンDを含有してゐます。  
理研ヴィタミンの榮養強壯作  
用がいかに卓抜であるかはこ  
の一例によつても明らかです

入球百入球〇四・い良の化滑く易み服・  
入球千入球百五、り入球ルーニピログ

店商置玉 社合式株 大限 店理代總

カ 読  
メ 者  
ラ の



〇 聖矛は東へ  
三重縣松阪市 貞郎  
十一月四日午前十一時半、  
宇治橋廣場の出發式を終へ  
た選手たちは、標として輝  
く聖矛をさげ、伊勢路を  
一路東へ、迎へる歡呼のど  
よめき、送る旗の波。



秋祭時風景  
宜城市上野町 植村不敵  
壽政様は豚のごとど  
ん整である。支那民衆の  
芥のごとき財貨をもこの  
眼のご鼻で探り、鼻を  
つけむさぼり喰つて、か  
くも太々しくなつたので  
ある。今や草の連綿下  
に身動きとれずこの姿に  
なり果てたのもこれ天の  
命するところなのである



〇 防空リレー  
千葉縣八日市町 深田登美雄

長期戦下國民の母たるべき女學生の心構  
へもけなげに、健康な乙女の肢體は空の  
下に過しく飄舞する。千葉縣敬愛高女  
體育祭の戦時色「防空リレー」

お正月號用  
「讀者のカメラ」募集  
親愛、力強い日本、たのもし、誠  
實、雅相が躍如な印となりつて繁  
榮の源流が山から山へと進んで  
来ます。現在の常識では到底これ  
等の十分の一の常設版では到底これ  
等の十分の一の常設版では到底これ  
等と十四年元旦號には相當のスプ  
レスを關心して思つて居ます。選材  
は従來通りでも結構ですが尚一層  
新鮮な、近き、新新聞の用紙  
をお月物らし、面白く、出品利用  
の意欲を鼓舞することを願います。サイ  
ズは、ハジメテ以上、編組の印を  
原稿に、内閣情報部宛に送ります。サイ  
ズは、ハジメテ以上、編組の印を  
原稿に、内閣情報部宛に送ります。サイ  
ズは、ハジメテ以上、編組の印を  
原稿に、内閣情報部宛に送ります。サイ  
ズは、ハジメテ以上、編組の印を  
原稿に、内閣情報部宛に送ります。

所 込 申	價 定	昭和十三年七月三日印刷發行
一 部	十 錢	内閣情報部
一 々年(前金)四圓八十錢		東京市品川区東品田町 内閣情報部庶務課
一 々年分未滿配給希望の方 は一部十錢の割合を以て 前金を添へ御申込み下さい		東京市品川区東品田町 内閣印刷局
内閣印刷局發行課		東京市品川区東品田町 内閣印刷局
電話九ノ内(三)三五一九		東京市品川区東品田町 内閣印刷局
郵便東京一九〇〇〇		東京市品川区東品田町 内閣印刷局
全國各地官報販賣所		東京市品川区東品田町 内閣印刷局
東京都書籍株式會社		東京市品川区東品田町 内閣印刷局
各書店・驛賣店		東京市品川区東品田町 内閣印刷局
各新聞販賣店		東京市品川区東品田町 内閣印刷局
寫真材料店		東京市品川区東品田町 内閣印刷局

寫真週報(發售中)  
空からの脅威に武装する  
木造都市建設のため、貴重  
な「人柱」となつて文字通  
り大祭りにあげられた被爆  
実験屋  
紅蓮にまつられた供試家  
屋も燃えあがらばけけ！汝  
の燃え別るゝは決して大死  
ではない、廣義國防への立  
派な協力である。  
以て取せよ。  
東京・防火改修費贈付  
撮影 内閣情報部

# 支那事變貯蓄券

十二月五日—二十日

四百五、四千金増割 四五、四十四

行銀業勸本日・省藏大

東京通報 昭和十三年十二月十二日 第三千四百四十四号

(本報の大きさは日本標準A4・縦横) 格別